

氷川神社  
社報 第十三号

# 武蔵一宮



氷川丸

祭事暦

当社では毎日の日供祭をはじめ年間約七十の祭典を行い、謹んで御皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穰と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。

- 一月一日 歳旦祭
- 二月 日供始祭
- 三日 元始祭
- 七日 昭和天皇遙拝式
- 十五日 献詠祭
- (兼題 望)
- 併 成人祭
- 二月一日 月次祭
- 三日 節分祭
- 七日 的神事
- 九日 初午祭(稲荷神社)
- 十一日 紀元祭
- 十五日 献詠祭
- (兼題 福杓)
- 十七日 祈年祭
- 二十三日 天長祭
- 三月一日 月次祭
- 十五日 献詠祭
- (兼題 里神楽)
- 併 郷神楽
- 二十日 春分祭



節分祭 鳴弦の儀



日供始祭



歳旦祭



天長祭



的神事



的神事 神饌 若菜ご飯

春迎えの神事

遙か昔、大陸から暦法が入るまでは正月の満月の夜を一年のはじまりとして行われたよう  
うで、それが暦法の移入とともに月のない一日を元日とするようになり、それから十五日の満月までの期間を正月期間としたと考えられています。元旦を大正月、十五日を小正月としたのは月の大小によるものが、太陽暦となつたために、行事として残つたものと考えられます。もとは正月行事であつた節分祭、じくわしち的の神事。節分は季節の分かれ目をいいますが、現代では立春前の節分だけが残っております。節分祭は平安時代からの宮中の追儼ついなになつて流鏝馬を行つていた的神事では若菜ご飯を供え、裏に鬼と書かれた的を射抜きます。

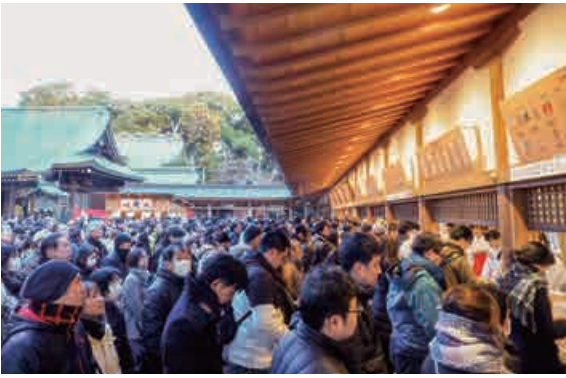
天長祭

二月二十三日は天皇誕生日である天長祭です。天長の由来は『老子』の「天長地久章」第七の「天長地久天地所以能長且久一者、以三其不二自生一、故能長生(天は長く、地は久し。天地の能く長く且久しき所以の者は、その自ら生きざるを以て、故に能く長生す)」からとされており、天地と共に聖寿の限りなき事を寿いだものです。御代替りともに行われる日が替わつても祈る姿は変わりません。

社頭往来

正月三が日

令和二年の正月は穏やかな陽気に恵まれ、三が日の初詣参詣者は約二百十万人でした。一日には大宮鳶職組合によるはしご乗りが行われ、NHKの初詣中継で放送され、三日には大宮能楽研究会による謡初めが行われました。また、昨年に続き神橋手前に大型ビジョンが設置され年中行事の映像などが映されました。



大宮能楽研究会 謡初め



大宮鳶職組合はしご乗り



舞殿の大絵馬

氏子総代初祈禱祭

一月十日午前十一時、氏子総代・評議員約八十名参列のもと新年の初祈禱祭を行い、皆様の無病息災と御隆盛を祈願致しました。



防災訓練

一月二十二日午前九時より大宮消防署の指導のもと、大宮消防団や氏子の皆様と消火訓練や文化財搬送の訓練を行いました。



婚礼展示会

一月二十六日、午後一時より四時まで呉竹荘において婚礼展示会が開催されました。



写真提供：さいたま市消防局大宮消防署

節分撒豆式

二月三日舞殿にて撒豆式さんずしきが行われました。十二時半は当社で豆撒きを行う如月会、二時は嘶家柳家小袁治師匠、陸奥部屋力士、衆議院議員牧原秀樹様、さいたま観光大使のアロハ太郎様、日本郵船氷川丸船長金谷範夫様、総代会会長大野隆司様始め責任役員他地元名士、一般申し込みの年男・年女、三時は氏子青年会の撒豆式を行いました。当日は福引き付の福豆にも多くの方が列を成しておりました。



大宮二十景入賞作品展示

二月三日より十四日まで大宮区主催の大宮二十景絵画コン

クールの入賞作品二十四点の廻廊展示を行いました。



大宮アルディージャ必勝祈願

二月七日午前九時、大宮アルディージャの必勝祈願を行いました。森正志社長、高木琢也監督が玉串を捧げ選手と共に今季の必勝を祈願しました。



写真提供：大宮アルディージャ

埼玉の神社 御朱印展

三月一日より四月五日まで、西待合所にて埼玉の神社御朱印展が開催され七十七社、三百三十九点の御朱印が展示されました。



東日本大震災復興祈願雅楽演奏

三月十一日、復興祈願雅楽演奏を行いました。午後二時四十六分より一分間の黙禱の後、豊栄の舞、浦安の舞を奉奏致しました。



HIKAWA SANDO PROJECT

三月十四日からARTS KAWAGUCHI実行委員会主催のモニユメントが参道、二の鳥居付近に展示されました。「時の歩み、庭を歩く」と題した作品は彫刻家の奥村拓郎氏・高田純嗣氏、ガーデンデザイナーの鈴木圭介氏の合作です。鈴木圭介氏が率いる一般社団法人green4様より、さいたま国際芸術祭のシンボルツリーとして

二の鳥居近くに枝垂れ桜の奉納を頂きました。



正統正流無雙直傳英信流居合道 奉納演武



写真提供：正統正流無雙直傳英信流居合道国際連盟

三月十四日午後一時、正式参拝の後、正統正流無雙直傳英信流居合道国際連盟・江坂道場主催の奉納演武が行われました。

春の特別紙朱印

三月十四日より春限定の特別

紙朱印「さくら」の授与を開始致しました。



桜・梅・柏奉納

三月二十三日、有限会社沖乃郷造園様より戦艦武蔵の碑近くにセンダイシダレ(桜)、松尾神社隣にシダレウメ(梅)、神池南にオウゴンカシワ(柏)の奉納を頂きました。



新型コロナウイルスの流行

令和元年十二月以降、中華人民共和国湖北省武漢市を中心として発生した新型コロナウイルスは、年を明けると世界的な流行の兆しを見せました。日本も例外でなく、収束の見通しが立たず拡散防止の為、宮内庁は二月二十三日の天皇誕生日の一般参賀を取りやめ、庁舎前の記帳も中止、政府の要請を受け、小・中・高の学校は休校となりました。二月の終わりにはJリーグはリーグ戦の延期、プロ野球はオープン戦を無観客試合にするなどの対策をとり、ディズニーランドなどのテーマパークも閉園しました。

当社でも予定していた奉納演武、埼玉県煎茶道連盟の献茶式及び春の茶会などは延期、花しづめ奉納弓道大会や新能、「神主さんと神社を学ぼう」などは中止となりました。

大神様の御神徳により一刻も早く終息し平穏な日々が戻るよう、また罹患された方々の御快復を謹んで御祈念申し上げます。

春の祭典案内



神饌 菱餅



花しづめの舞



大祭 参進



大祭 修祓

鎮花祭は無病息災、五穀豊穡を祈願するお祭りです。桜の花の咲く頃は様々に生命が冬籠りから起きますが、病気や種々の災害も起こりやすい為、疫病を鎮め、また桜が長く咲く年は豊作であるということからいつまでも花が散らぬようにと祈ります。

三日間とも祭典中、楼門内舞殿にて氏子崇敬者の童女による花しづめの舞が行われ、中でも七日の大祭は神職も装束の正服である衣冠を着用、冠に桜花の小枝を付す優雅なお祭りで、特殊神饌として緑、紅、白の菱餅の上に桜花を乗せてお供えします。

鎮花祭 (四月五日〜七日)

花しづめの歌 (今様調)

氷川の宮の花しづめ  
花よやすらへこの年も  
神のめぐみに豊けて  
ま幸くあらむことほぎに

同(鈴舞歌)

一、さくらさくら 氷川の杜の  
木の間に白く 霞かくもか  
にはひぞ出る やすれやすれ  
花よやすれ

二、さくらさくら 氷川の宮の  
花しづめ祭 今をさかりと  
にはひぞ満る やすれやすれ  
花よやすれ

三、さくらさくら 氷川の宮の  
み山のさくら めぐみも深き  
いろにぞ匂ふ やすれやすれ  
花よやすれ

四、さくらさくら 氷川の宮の  
み前のさくら いや年毎に  
さかゆく桜 やすれやすれ  
花よやすれ

間拍子 一回

間拍子 四回

神社周辺の桜



護国神社(大宮公園)



平成ひろば



一の鳥居

日本書紀編纂一三〇〇年②

本年は古事記と共に記紀神話といわれる日本書紀が編纂されてから一三〇〇年になります。当社のおみくじは一番から五十番まであり古事記、日本書紀の伝承から事象や神名などを題としております。神名はこの解説では日本書紀での表記を使用しております。

おみくじ読み解き

(複数の伝承を組み合わせた意訳です)

禊祓 (十三番から十六番)

死者の国から還った伊弉諾は身についた穢れを落とそうと、筑紫の国の日向の小戸の橋の檣原で禊をされました。上瀬は速い(十三番 身曾貴上瀬)、しかし下瀬は弱い(十四番 身曾貴下瀬)、中瀬が程よいと(十五番 身曾貴中瀬)言って禊を行うと神直日神と大直日神という祓えの神が生まれました。さらに海でも禊を行うと底筒男命、中筒男命、表筒男命が生まれました。次に左の眼を洗うと天照大神、右の眼を洗うと月読尊、鼻を洗うと素戔嗚尊と、貴い三柱の神様が生まれました。

そこで伊弉諾は天照大神に天上界である高天原を、月読には同じく天上界を、素戔嗚には大海原を治めなさいと命じました(十六番 三貴子事似)。先に高天原に行っていた天照大神は地上界に保食神という食物の神がいるのを知り、月読に会ってくるように言いました。月読が会いに行きましたが、その神が口から食べ物を生み出すのを見ると怒って殺してしまいました。

天照大神は大層怒り月読とは顔を合わせないようにすると言いました。これにより昼と夜とが分けられることになりました。天照大神は保食神の様子を見に行かせる、その体から稲や粟などの五穀や大豆や小豆、牛、馬、繭など様々なものが生まれていました。この後から稲作や養蚕が始められたと言うことです。

天照大神と須佐之男命の誓約

(十七番から十九番)

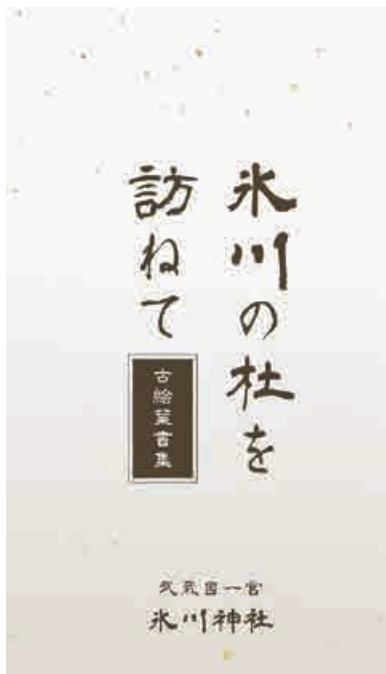
伊弉諾は自らの務めを終え、余生を過ごしました(十七番 日之若宮)。素戔嗚は父の指示に従わず、母のいる国に行きたいと言い、その前に姉の天照大神に会いに行きました。しかし天照大神は乱暴な素戔嗚は自分の国に攻めてきたと疑いました。素戔嗚は疑いを晴らすため、天照大神と誓約(十八番 宇気備)を行い、自身の潔白を晴らしました。この誓約の結果、素戔嗚の子として生まれたのが沖津嶋姫・湍津姫・田心姫の宗像三女神です(十九番 御子認別)。天照大神の子としては、その後、子が地上界に降りる事になる天忍穗耳尊や出雲国造の祖先神である天穗日命が生まれております。

天の岩戸開き (二十番から二十四番)

誓約により自身の潔白を証明した素戔嗚は、喜びの余り様々な乱暴や狼藉をはたらきました。天照大神は目をつぶっていましたが、いよいよ我慢ならず、天石窟に閉じこもってしまい、国中が暗闇となりました。困った八百万の神さまたちは集まりどうしたらよいか話し合いました。そして知恵の神さまである思兼神が考えた方法が行われました。まず、常世の長鳴鳥(鶏)に一斉に鳴かせ、天石窟の前に祭壇を作り、神に八尺瓊勾玉や八咫鏡などを飾り(二十一 三種神宝)、中臣氏の祖先である天兒屋命や忌部氏の祖先である太玉命がお祭りを(二十二番 中臣・天鈿女命が激しく踊りました(二十番 御神楽)。すると自分がいなくて国中が暗闇になっているはずなのにこれはどうしたことかと思議に思った天照大神は磐戸を少し開けて外の様子を探ろうとしました。そこですかさず、手力雄神が磐戸を開け、天照大神を外に出したのでした(二十三番 岩戸開)。八百万の神さまたちはこの責任を素戔嗚にとらせ、高天原から追放したのでした。古事記では、素戔嗚はこの後、食べ物神さまである大宜都比咩に会った際に食べ物神を乞いますが、その食べ物神の生み出し方に怒り殺してしまいます(二十四番 大宜都比咩)。

# 古絵葉書集刊行

此の度、明治時代末期から昭和初期にかけて発行された絵葉書をまとめた古絵葉書集を刊行致しました。社頭授与所で千五百円で頒布しております。



大正期 三の鳥居



大正期 参道



大正期 本殿



大正期 社殿 社務所

現在のケヤキ参道は、昭和初期までは杉並木で「並木十八丁杉つづき」と親しまれておりました。鬱蒼とした杉の参道は趣が異なり、鎮守の杜に続く屋でもなお暗い森厳な佇まいでありました。また現在、当社の代表的な建物である楼門は昭和十五年の造営ですが、以前は神門が、その前には鳥居のある風景でした。

本殿や拝殿もまた昭和の大造営によるものですが、それまでの本殿は杜の中に鎮まるお社でした。古絵葉書は往時の景色を、時を超えて雄弁に物語っております。悠久の歴史が息づく氷川の杜、古絵葉書集を片手に、現在の姿と見比べながら境内を散策してみたいかがでしょうか。





桜の名所として知られる大宮公園。明治十八年に氷川公園として開園した大宮公園は今年で百三十五年になります。もともと、この地は氷川神社の奥山と言われる場所で、開園当初は松林や雑木林、萩、薄の群生し旅館などもある野趣溢れる都心に近い景勝地でした。森陽外や正岡子規、夏目漱石のような文人も訪れ、文学作品にも登場しています。現在のよな公園の姿は、大正十年に本多清六博士らによって立てられた氷川公園改良計画案によるものです。昭和になると児童遊園地や児童プール、ボート池などが造成され、大宮球場や自転車競技場や陸上競技場なども建設されました。また、それまで国家の為に一命を捧げられた方々の慰霊は浦和の調神社の境内で臨時に行われておりましたが、その数が多くなるに伴い桜の美しい氷川公園内に常設の神社をと、埼玉県招魂社(昭和十四年に埼玉県護国神社に改称)が祀られ行われるようになりました。大宮遊園地ホテルの跡地には埼玉百年の森が整備、料亭石州楼の跡地には日本庭園が開園するなど現在の大宮公園につながっております。



参道清掃奉仕御礼

参道の清掃活動を頂きました皆様の方名を紹介し、謹んで御篤志に感謝申し上げます。参道清掃のお申し出、お問い合わせは社務所までお願い致します。(五十音順、敬称略)

- I love Saitama さん ーす
阿含宗埴玉道場
大宮明るい社会づくりの会
パーソルテンプスタッフ株式会社
(さいたま市ジョブアシスト事業)
ボーイスカウトさいたま1団
みずほ証券株式会社



一月の奉納献華

- 古流松藤会 岩波理豊
池坊 草谷智花
草月流 冲山草俊 草月流 竹下尚峰
桂古流 小林華侑 正風流一光会 桐生一光
桂古流 高橋典花 春草流 栗原春彩



二月の奉納献華

- 古流松藤会 岩波理豊 桂古流 小林華侑
池坊 草谷智花 桂古流 高橋典花
草月流 冲山草俊 草月流 竹下尚峰
正風流一光会 桐生一光



三月の奉納献華

- 古流松藤会 岩波理豊 桂古流 高橋典花
池坊 草谷智花 草月流 竹下尚峰
桂古流 小林華侑 正風流一光会 桐生一光
古流松藤会 川嶋理智 春草流 栗原春彩

参道の緑化活動に参加しませんか
氷川の杜まちづくり協議会
氷川の杜まちづくり協議会の活動へのご支援をお願いします
氷川の杜まちづくり協議会は、さいたま市や民間財団基金の助成、氷川神社からの資金提供とともに、市民の会費と協賛金によって活動しています。協議会の活動に賛同される方々からのご支援をお願いいたします。
お問い合わせは、事務局(さいたま市氷川参道対策室)まで
TEL: 048-646-3122 FAX: 048-646-3123

正式参拝及び諸会議 (敬称略)
一月 一日 大宮篤職組合
三日 大宮能楽研究会
八日 衆議院議員枝野幸男
八日 参議院議員熊谷裕人
八日 靖国神社宮司
十日 氏子総代評議員会互礼会
十三日 さいたま市長 清水勇人
十四日 氷川はたるの会
十七日 氷川神社敬神婦人会
十七日 埼玉県神社庁庁長中山高嶺
外県内神職一同
二十一日 解脱会埼玉教区女性部
二十三日 いしがい大学
二十六日 品川神社
二十六日 羽村稲荷神社
二十八日 立正佼成会大宮教会
二月 六日 高鼻二丁目友の会
六日 大宮観光ボランティアガイド会
七日 大宮アルデージャ
十一日 鎮花祭奉仕者説明会
十六日 千葉寒川神社奉賛会
十六日 東部地区社会福祉協議会
三月 九日 責任役員会、敬神講社理事會、氏子総代会並評議員会
十四日 武蔵菊花会
十四日 正統正流無雙直傳英信流居合道笑観の会
二十七日

# 氷川丸 九十周年



操舵室



八雲の船内装飾



当社に奉納された羅針盤と浮き輪

横浜の山下公園前に係留される日本郵船氷川丸は、令和二年四月二十五日に竣工九十周年を迎えます。氷川神社より名前を授かった氷川丸は、横浜船渠(株)(現三菱重工業(株)横浜製作所)で当時の造船技術の粋が集められた優秀貨客船として竣工しました。デンマークのB&W社製のディーゼルエンジンを搭載し、内装においてもフランス人工芸家のマルク・シモンによるアールデコ様式のデザインが施されました。船内の神棚には氷川神社の御祭神が祀られ、船内の中央階段の手すりには、八雲の神紋が用いられています。

氷川丸はシアトル航路に就航し、戦時中は病院船、戦後は復員船・引揚船を経て再び、シアトル航路で活躍しました。戦前に造られた船で沈まずに残った船は氷川丸の他、高砂丸、有馬山丸など数隻だけで、氷川丸はその中で一番大きな船でした。氷川丸は戦争中に三度も触雷し、敵機から銃撃を受け、また潜水艦に遭遇しながらも、生き残ったことから、強運の船と呼ばれるようになりました。船齢三十年を迎え引退した氷川丸は、青少年の海事・海洋思想普及の為に、昭和三十五年の最後の航海の後に改装工事が行われ、昭和三十六年に山下公園前に係留され、一般公開されることになりました。戦前の日本で建造され現存する唯一の貨客船であり、造船技術や船内装飾を伝える貴重な産業遺産として高く評価され、平成二十八年に重要文化財に指定されております。

夏越大祓のご案内

六月三十日午後二時、半年間の罪穢れを祓う大祓式を斎行致します。六月の大祓式は夏越の大祓ともいわれ、茅の輪をくぐって災厄を祓う事から輪くぐりの神事ともいわれます。本年、神橋の茅の輪は六月二十七日より七月五日まで設置予定です。



茅の輪守  
(初穂料1000円)



MUSASHIICHINOMIYA.HIKAWA@GICJYA

公式Instagram  
始めました。祭典や  
四季の移り変わりな  
どお知らせ致します。



第十四号は七月十五日発行予定です

**氷川マルシェ**  
会場 参道

※詳しくは氷川マルシェホームページを御参照願います。<https://hikawa-marche.com/>

**第6回氷川ほたる鑑賞会**  
会場 本殿西側 蛇の池及び水路

※入場無料、社務所前にて当日申込み制、詳しくは氷川ほたるの会ホームページを御参照願います。

発行 令和2年4月15日 発行所 氷川神社社務所

写真協力 日本郵船氷川丸 宮野信昭 中村写真館 印刷所 株式会社 秀飯舎

さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <http://www.musashiichinomiya-hikawa.or.jp/>